

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果

開催日	平成27年8月23日	
公の施設の名称	あしや温泉	
指定管理者の名称	株式会社オーエンス	
所管課名	市民生活部環境課	
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日	
所在地	芦屋市呉川町14番11号	
施設概要	温浴施設（浴室、個浴）、足湯、持ち帰り湯 休業日：毎週火曜日、第1・第3水曜日（祝日の場合は営業）、1月1日～3日 営業時間：午後2時～午後11時（足湯は午前11時～日没、持ち帰り湯は午前11時～午後11時）	
業務概要	あしや温泉の運営、施設の維持管理業務	
収支の状況	事業計画上の金額	実績の金額
平成25年度収入	- 円	- 円
平成25年度支出	- 円	- 円
平成25年度収支	- 円	- 円
平成26年度収入	35,068,000 円	36,778,210 円
平成26年度支出	35,068,000 円	31,805,509 円
平成26年度収支	0 円	4,972,701 円
芦屋市指定管理者 選定・評価委員	氏名	所属・役職
	高原 利栄子	近畿大学経営学部 准教授
	金井 文宏	大阪都市コミュニティ研究室 室長（主席研究員）
	小市 裕之	新日本有限責任監査法人 公認会計士
	北川 加津美	芦屋市 市民生活部長
評価対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日の1年間	

評価項目	説明	点数	得点率	評価	
①適正性		各40	160	B	
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	22	61%		
従業員管理・研修計画	適正に従業員が配置され、労働環境が保持されているか 従業員研修が十分に実施されているか	26			
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか	24			
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか	26			
②効率性		各40		120	B
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	26	67%		
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか	32			
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能している	22			
③有効性		各40	120	B	
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか 提案されていた自主事業等に計画通り、取り組んでいるか	22	78		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか	32			
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか	24			
				得点率	64%

利用状況等	項目名	平成26年度 実績	平成25年度 実績	平成24年度 実績
	温浴施設利用者数	96,195 人	99,500 人	104,400 人
持ち帰り湯利用者数	1,978 人	- 人	- 人	

総合評価	評価の理由
B	施設が老朽化する中、源泉ポンプの故障があったものの、利用者が安全に利用できるよう、衛生面や修繕面をはじめ、概ね事業計画等の内容どおり適正な管理運営が行われている。今後は、設備面の適切な維持管理や地域コミュニティとの連携などにより、利用者満足度の更なる向上に務められたい。また、施設におけるBCP(事業継続計画)を作成し、危機管理体制を強化し、安定的な運営を行っていただきたい。

総合評価結果	得点割合	
S 優良	90%以上	目標・計画を大きく上回る。優れた管理運営が行われたもの
A 良好	75%以上	目標・計画を上回る。良好な管理運営が行われたもの
B 適正	60%以上	計画に沿ったものである。適正な管理運営が行われたもの
C 要努力	60%未満	目標・計画を下回る。一部に課題がある管理運営が行われたもの

講評及び次期指定に向けての課題等

指定管理者に対する意見

【備品管理について】

市の備品台帳のコピーを有しておらず、現物管理用の備品台帳も作成されていない。
また、市の備品ラベルも貼付されているものと貼付されていないものが混在しているため、管理が必要な物品を明確にしてください。

【施設の管理運営】

温泉等の衛生基準を遵守するなど施設の衛生管理は、適正に行われている。しかし、源泉ポンプの故障が指定管理者のみに起因するものではないが、2週間近く休業することになったことを踏まえて、対応策や再発防止策を立てるとともにバックアップ体制等、市と協議し、今後の対応を検討いただきたい。

【危機管理について】

従業員に対する研修は定期的に行われている。ポンプ故障に伴う休業からの復旧も1つのBCPであると考えられるので、その他の事象も含め、施設としてのBCPを市と十分協議して、対応策を講じてください。
また、今後は、利用者を含めた防災訓練などにも取り組んでいただきたい。

【自主事業について】

提案された自主事業が未実施のものが多く見受けられる。
今後、実施できるように取組の見直しを行うこと。特に地域コミュニティ・生涯学習団体（サークル）と積極的に関わり、連携して取り組んでいただきたい。

施設所管課に対する意見

【備品管理について】

市の備品台帳の更新を行い、指定管理者と共有し、備品管理の徹底を図ってください。
備品ラベルが貼られていないものも多くみられることから、市の備品ラベルが貼付され、現物と台帳との突合せができるようにすることが必要です。作成に向けて、指定管理者と連携を図り、取り組んでください。

【施設の管理運営】

源泉ポンプの故障による休業が2週間にも及んだというのは、民間企業では考えられず、サービス提供施設としては反省すべきことです。そのことを踏まえて、対応策や再発防止策を立てるとともに今後の施設のあり方について、指定管理者と協議し、検討いただきたい。

【勤務体制や研修について】

勤務体制や研修については、現在口頭での聞き取りなどによる確認であるため、報告書等の書面上でも、研修やOJTの実施状況などを確認し、把握してください。

【自主事業について】

指定管理者の自主事業の実施に際して、地域との連携に関しては、市も支援を行い、より地域に愛される施設となるよう努めていただきたい。